

義太夫

御挨拶

義太夫協会会長 田 辺 秀 雄

義太夫協会会報
第48号

平成2年7月21日

社団法人 義太夫協会発行
〒104 東京都中央区銀座
6-18-2 新橋演舞場B2
TEL (541)5471

暑中お見舞申し上げます。
昨年未まで上野の本牧亭で毎月二回ずつ開催されていきました協会の公演が、会場閉鎖の為、今年の正月から国立演芸場に移ることになりました。今までに比べますと、雰囲気も違い、馴染みも異なり、特に客席が大変広くなりましたので、如何なることか心配していましたが、この半年ばかりの公演を見ますと、客層も増え、演奏者もこの明るい舞台にすっかり慣れたようで、先ず滑り出しは上々というところであると思います。ですがその陰にあって苦労された方々にお礼を申し上げます。御協力下さいました国立劇場の方々の他、

特別プロを組んで放送して下さいましたNHKの方々、新聞、雑誌のマスコミの方々、有難う御座いました。
この機会に、今まで愛好者や後援者の方々から屢々指摘されて居りました公演の企画やプログラムのマンネリズムの打開、或いは広い客層に向くような新鮮な企画などの要望を取り上げ、評論家、学識経験者などを委員に委嘱、協会の公演部と共にそうした線に沿った公演企画委員会を作り、この四月公演から委員達のプロデュースを含めた新しい企画がお目見えすることになりました。これも偏に義太夫を多くの人に魅力を持たせ、よく理解して貰いたいという気持ちからです。それに

うしろの図柄を見て何と解く？ その心は？
皆様もどうぞお考え下さい。 解答は9頁。



新年会にて、河野国声常任相談役の出席に見事正解、賞金を射とめた田辺秀雄会長！

(写真 富田三千三氏)

はまた愛好家や聴衆の方々からの活発な御意見や御批判も貴重です。世の中も昭和から平成に代わったばかりです。義太夫協会も新しい時代に即する必要があるかと思うのです。御期待と御協力をお願いします。
しかし悲しい報告もありました。本協会の産みの親の一人であった功労者である豊澤仙廣師がお亡くなりになりました。協会のこととなると目を輝かして話をされた生前のお姿を思い出します。また昨年暮れには大阪の豊竹団可師が御高齢で亡くなられました。過去の栄光を考えると大変淋しい気がします。共に御冥福を祈ります。

豊澤仙廣師逝く

追善会は来年三月国立演芸場
保存会会長には竹本越道就任

義太夫節保存会会長・義太夫協会前副会長の豊澤仙廣師(本名 今井小静)が、1月8日午後11時30分、心不全のため代々木の自宅で亡くなられました。享年90才。

告別式は、12日、芝増上寺慈雲院にてしめやかに営まれました。各方面からの多彩な参列者の中でも、良き理解者であった義太夫協会顧問・東海大学総長・松前重義氏、義太夫協会常任相談役・河野国声氏お二人の御長老が特に目をひいていました。弔辞は、田辺秀雄義太夫協会会長。出棺にあたって、竹本越道常務理事はじめ女流正会員が「野崎村のヲクリ」を演奏して仙廣師に別れを告げました。

広島県三次市に生れ、12才から義太夫の修業を始めた義太夫人生、また、料亭とホテル「新小松」の女将としての実業家人生、ひとり二人分の人生を生き抜いた仙廣師の逝去は、奇しくも、1月10日の本牧亭の閉鎖に合わせたかのようにでした。

昨年未の、本牧亭最後のチャリティ公演の

結果を心配され、本牧亭での最後の「豊澤仙廣賞」に蔭の功労者・箱屋さん(床世話)が選ばれたことを殊のほか喜んでおられた仙廣師は、戦後40年間にわたって続けてきた「女流義太夫」定期公演を、文字どおり物心両面にわたって支えた最大の功績者であります。今年1月から国立演芸場でおこなっておりま

大変お粗末な真打さん

関東大震災の大分前、宮松亭で看板を上げた、名前は忘れましたが、竹本文字〇という美しい娘義太夫が居りました。顔も年齢も、タレントの山瀬まみとよく似ていました。舞台は豪華な飾り物が左右の杉戸を払った高座へ並べられ、金銀財宝綾錦、まるで桃太郎の

す「女流義太夫演奏会」は、まさにその歴史の上に積み重ねられたものと申せましょう。義太夫協会と義太夫節保存会では、仙廣師の功績に感謝して、来年3月追善会を計画しています。仙廣師を偲ぶ追悼の文章は、追善会を控えた次号に掲載させて頂きたく、どうか御了承下さいませようお願いします。

尚、御遺族から義太夫協会に百万円の御寄付を頂戴いたしました。皆様に御報告申し上げます。同時に、改めて御礼申し上げます。

仙廣師亡き後の義太夫節保存会会長には、平成2年度より「仙廣師の御遺志を継いで、私でお役にたつなら」と竹本越道が就任いたしました。

相談役 豊澤 猿三郎

廻りみたくです。西陣の帯地を数十本使った緞帳を前幕に作ったのですが、宮松亭が許さなかったもので、後ろ幕に飾り、まるで中華民国の皇妃の居間のようなのです。

態々お目当ての大吉利の太夫が始まりました。虫の鳴くような小さな声なので聞こえま

せんが、肩衣といふ、見台も布団も美しづくめなので、お客はただあっけにとられ、度胆を抜かれましたが、四・五分たつと、余り下手なので、お客が騒ぎ出しました。しかし、半段でチョン、普通なら真打が半段で済む訳がない。怒るとか、惜しい惜しいと言うところですが、ブツブツ言いながら帰ります。

二日目にこの娘の正体を調べてきたお客があります。話は枝道に入りますが、金色夜叉の小説に、ある歌留多会の席に、今なら数億円ダイヤモンドを両手にはめた、富山忠継という嫌味な男がいます。その男のモデルが、神田の大書房の社長だそうです。お宮は、そのダイヤモンドに目が眩み、貫一を捨てて富山と結婚したのです。文字〇は、その社長の二号だったのです。二日目は、野次のうちにどうやら終りました。

三日目でお客様も大分薄くなりました。どうした事でしょう。宮松亭の隣りの大割烹店の半纏を着た若い衆が二・三人で、二階棧敷の東側へ赤毛氈を敷き、大きな縮緬の座布団を敷き、脇息まで置きましたので、お客様は何事かと不審に思っていました。やがて切り場が終ってお仲入りとなると、隣りの割烹店の女将の案内で、客と芸妓が七・八人、仲間二人を連れだした一団です。座布団へどっか座った男の両手には眼を射る様なダイヤモンドが光っています。数々の料理、ビール、酒などが運ばれ、「サァサァ飲め飲め。義太夫が終ったらもう一度帰って飲み直そう。この席へ来たのも、遠出座敷だ。帰ったら又、玉祝

儀を付け直してやろう。都合三座敷になるぞ。金なら幾らかかっても構わん。皆、文字〇の為じゃ。アハ、、、高座は始まっています。二世も三世も女夫じゃと」「どうだ、いゝ文句だなアア。二世も三世も女夫だなんて。僕と文字〇の仲みたいだ」遂にお客が怒り出しました。「ダメレ色気狂い、たださえ虫の鳴くような声が、なんにも聞こえねーや」「なんだ、色気狂いとは僕のことか。僕は文字〇に莫大な金をかけてるんだぞ。失敬ナ」もう大変な騒ぎです。文字〇も語りやめて黙って見えます。三味線の昇寿も三味線を置いてながめていますと、宮松亭の大親方がノッソノッソと高座の前へ立ちました。「箱屋ッ、御簾をおろせ、文字〇の衣裳、道具、皆外へ出せ」

親方は、正面へ向きました。芸人はもとよりお客様も、この親方は温厚な人なのですが、こわいのです。客席はシーンと静まりました。「お客様、ほんとに御迷惑かけました。よそ様の席は知りませんが、この宮松の高座で真打になるには、朝太夫、松太夫、小清氏のお三人の師匠の許しか、因会全部の役員が試験して決めるのです。この度は、頭取の〇齊と会計の〇市が絶対保証するというので試験無しを許したのです。この興行は今夜で打ち切り。明日、神主に来て貰って高座と客席、楽屋を浄めて十二日間休席します。お客様には、お帰りの時、丸札を差し上げますから、俵から受け取って、十六日からお越し下さい。この度の事は、明日役員会を開いて二人を処分致

します。本当に相済みません。」と謝りました。そして、翌日の役員会で〇齊さんと、〇市さんの大取崩が露われました。兩人共、その場で免職、〇市さんは女のお弟子さんをつけてシガポールへ行き、あちらで亡くなったのでしよう。そのお弟子さんは帰国して或る方と結婚して幸せに暮らしました。お宮のモデルになった大書房の奥さんが先年亡くなられ、新聞に詳しく一生涯の事が掲載されていました。

亡くなったといえ、新小松さん(豊澤仙廣さん)が亡くなった時、増上寺へ通夜に参りました折、境内左側の楼閣が昼の様な明るさで、数十台の高級車が並び、「〇〇大臣様のお車」と拡声器で呼んでいます。流石、新小松は偉いなアと思ひながら受付へ行きました。十人程の受付の人が皆、肉まんじゅう程の大きな白菊の花をつけ、皆モーニングを着た人ばかりなのです。署名を見て「豊澤サルサブロというのですか？」と言われ「ムットせしが押し鎮め」祭壇へ向かいました。今度は「ハッ」と驚くばかりなり「祭壇にヒゲのはえたおぢさまの写真が飾ってあります。司会者に聞きました。今度は「ウーン」とばかり反り返る。この式場は小松製作所の葬儀だったので、帰りに受付へ行くと、「先刻のサル三郎です、香典を返して下さい。」つくづく私の頭の悪さと慌て者にあきれて、寒い夜なのに汗をかきました。

長くなりましたのご退屈様でした。

一日体験シリーズ昨年を上回る人気!

160名中135名(84%)が女性の参加者

「義太夫の一日体験入門」「語りの一日体験教室」「三味線の一日体験教室」四月から五月にかけて、連続して実施しましたが、その人気は昨年をはるかに上回るものでした。特に、三味線は早々と定員突破、とうとうもう一クラス追加いたしました。主催した義太夫協会も、参加された方も、取材の方も、それ加いがびっくりしていたようです。取材といえば、スタッフの方がいつの間にか、一緒に声をだして話っていたり、三味線を弾きはじめたりという、微笑ましい光景も見られました。報道して下さった新聞・テレビ・ラジオに感謝いたします。

(会場は、いずれも演舞場スペース・アルファ)

「一日体験入門」
平成2年4月14日
「三味線入門・語り入門」
案内人：野澤松也

参加者41名 アンケート回答41名

(男6名・女35名)

*義太夫を語るの初 初めて38名 経験あり

2名 無回答1名

*三味線を弾くのは 初めて27名 経験あり

13名 無回答1名

*他の邦楽の経験が ある14名 なし26名

無回答1名

*年代 10代10名 20代18名 30代19

名 40代17名 50代以上17名

以下設問順に答えて頂きました。

- ① 義太夫を語るの初 ② 三味線を弾くのは
- ③ 他の邦楽の経験が ④ 年代 ⑤ 性別 ⑥ これまで義太夫に対して持っていたイメージ
- ⑦ 体験して、そのイメージがどう変わったか
- ⑧ 感想

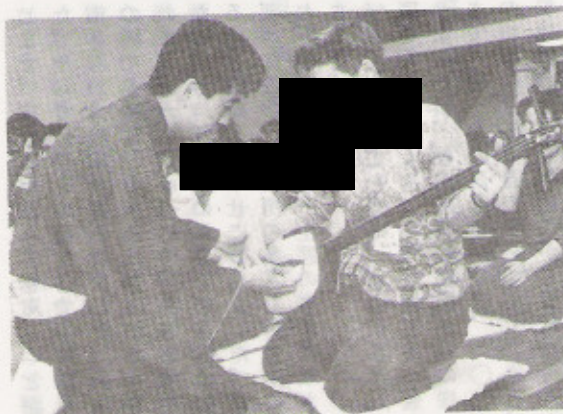
- ① 初 ② 初 ③ なし ④ 20 ⑤ 女 ⑥ 全然意味のわからないもの、苦手な古文のイメージ
- ⑦ 三味線の音がとても良かったです。⑧ おもしろかったです。もっと時間があれば良かったです。

- ① 初 ② 初 ③ なし ④ 30 ⑤ 女 ⑥ 何もなし
- ⑦ ⑧ 三味線は、弾いている人は簡単に見えるのに、実際とは大違いでした。語りは、

たぶんちっとも正確に出来たとは思えないけど、大きな声を出すのはなかなか悪くないと思いました。

- ① 初 ② 初 ③ なし ④ 20 ⑤ 女 ⑥ 疲れる時にきくと子守歌になってしまおう。⑦ 自分でやると子守歌にもなりません! これは大変だ!! ⑧ 素人でもやれば何とかなる!!

- ① 初 ② 初 ③ なし ④ 20 ⑤ 女 ⑥ 大学で演劇を専攻していますので、義太夫には触れる機会がよくありました。汗とツベの世界だと思っていました。⑦ 三味線って重いんですね、肉体労働だ! ⑧ 肩が疲れました。でもとても楽しかった



外国の方も。親切な野澤松也案内人 (写真提供 共同通信社)

①初 ②初 ③なし ④20 ⑤女 ⑥聞き取るにはむずかしい ⑦かなり修業を必要とした芸術であると思った ⑧昨年新聞で見て参加したかったので楽しかったです。ただし、難しいのと足のしびれを我慢するのが大変だった。やはり少人数で講習を受けるものだと思います。

①初 ②初 ③なし ④20 ⑤女 ⑥三味線も太夫さんも力強い。⑦思ったより自然なのに驚いた。⑧目の前でプロの人が三味線を弾くのを初めて見てそれだけでも感動的だった。

①初 ②初 ③なし ④20 ⑤女 ⑥言葉がよく理解できなかったので、外国の唄を聞いているようでした。⑦当り前なのですが、やはり日本語だったのだからと思えました。⑧初めて自分で音が出て嬉しかったです。

「義太夫(語り)の一日体験教室」
平成2年5月12日
『卅三問堂棟由来 本遣音頭の段』
講師―竹本 朝重

参加者43名(男7名・女36名)

アンケート解答35名(男4名・女31名)

*義太夫を語るの初めは初めて31名 経験あり

4名「前回の一日体験教室にて」

*他の邦楽の経験がある12名 なし19名

無回答4名

*年代 10代―2名 20代―11名 30代―8名

40代―5名 50代以上―8名 無回答1名

以下、設問順に答えて頂きました。

①義太夫を語るの ②他の邦楽の経験が
③一日体験に参加の動機 ④年代 ⑤性別
⑥これまで義太夫に対して持っていたイメージ
⑦体験して、そのイメージがどう変わったか ⑧感想

①初 ②なし ③歌舞伎を見て浄瑠璃に興味を持った折、新聞記事を見て ④30 ⑤女
⑥先輩方の趣味 ⑦年齢に関係なく楽しめました。物語にふしをつけて語る楽しさを感じました。⑧日頃なかなか邦楽にふれるチャンスがなかったが、ちょっとの新聞記事から日本の文化にふれることが出来たのはとても良かったです。

①初 ②なし ③古典芸術に興味があったので ④20 ⑤女 ⑥おじさんの浪曲のような
⑦無記入 ⑧とても親しみがもてた。

①初 ②なし ③聞くだけでなく一度自分で演技してみたいと思っていた ④20 ⑤男

⑥流麗な部分とドラマティックな部分が渾然とした音楽 ⑦歌と語りは不可分なものだ
⑧無記入

①初 ②なし ③義太夫を知らなかったから
④10 ⑤女 ⑥古臭い ⑦辛気臭いと思っていたが、力強い ⑧義太夫のことが少しでもわかって良かった

①初 ②あり「三味線」 ③太棹三味線に興味あり ④40 ⑤女 ⑥声の出し方が特別
⑦お腹を使うので健康に良い ⑧なかなか難しく一朝一夕には覚えられません。楽しかったので感謝

①初 ②無記入 ③友達に誘われて ④60
⑤女 ⑥古くてなじめない気がした ⑦物語が元気にまた悲しく嬉しく心の動き等を感じました。⑧初めて義太夫にめぐり逢いとても感激しました。親子の悲しみが身に沁みて涙がこみ上げてきました。縁がありましたら又学びたいと思います。

①初 ②なし ③床で語る姿が堂々としていて、その語りで涙したり笑ったりさせられることが多いので、思いっきり声を出して、そんな表現が私にも出来るのか? ④40 ⑤女
⑥歌舞伎の竹本はあまり表に出てこない御簾内なので、目に残る点が少なかった。⑦無記入 ⑧楽しかった。足のしびれさえなければもっと長く語れば。



①初 ②なし ③学校で人形浄瑠璃の講義を受けているので。④20 ⑤女 ⑥特になかった。全く理解がなかった。⑦無記入 ⑧声の大きさにはじめ驚いた。

①初 ②あり「長唄」 ③長唄とどのように違うか実際に体験したい。④20 ⑤女 ⑥語りは一人で喜怒哀楽を表現して難しいだろうが同時に気持ちよさそう。三味線は、感情を表情に出さず、息をためたまま弾くのがすごい。「んーんー」とうなっているのはなぜか? ⑦声の出し方が全然違いました。気騒みに入っていくかと思う。⑧とても楽しく気持ちよかったです。後半にいくに従い、自分で声を出しながら(話の内容から)悲しい気分になったりしました。

①初 ②なし ③卒論で近松をかこうとされていて、体験するのもいいかなと思った。④20 ⑤女 ⑥あまり縁がないと思っていた。

⑦見ためより非常に難しかった。汗だくにまりました。⑧面白かったです。でも足がしびれて仕方がなかった。今度の三味線もやりたいと考えています。

①初 ②なし ③何か古典的な芸能というのにふれてみた。④10 ⑤女 ⑥ほとんど義太夫に関しては無知だったので、イメージはなかったです。難しい古典芸能という事くらいです。⑦もっと固苦しいと思ってましたが、昔の大衆芸能であったわけですから、内容もわかりやすく、とっつきやすいものだった。⑧とても興味深く楽しかったです。

「三味線の一日体験教室」
平成2年5月26日
講師—竹本弥乃太夫
助手—野澤 松也

参加者 2クラス合計76名

(男12名 女64名)

アンケート回答67名

(男10名 女54名 無回答3名)

*三味線を弾くのは 初めて47名 経験あり

19名 無回答1名

*三味線以外の楽器の経験がある45名 なし22名

*年代 10代—2名 20代—29名 30代—12名 40代—10名 50代以上—12名 無回答2名

以下、設問順に答えて頂きました。

①三味線を弾くのは ②三味線以外の楽器の経験 ③年代 ④性別 ⑤感想

①初 ②あり「ピアノ」 ③20 ④女 ⑤三味線を始める決心がつかまりました。どうも有難うございました。

①初 ②あり「バイオリン」 ③30 ④女 ⑤いつも何気なく見ているのですが、重労働であることがよく分かりました。三味線も重かった。支えているのが大変でした。これからは心して見ます。

①初 ②あり「チェロ・ピアノ」 ③20 ④女 ⑤どこをどうやったらいいのか、さっぱりなので、補助の方が見回って下さったのが有難かったです。譜が難しい。

①経験あり「長唄」 ②あり「ピアノ」 ③20 ④女 ⑤音がまるで出ませんでした。耳に残っている節が弾けて面白かったです。

①初 ②あり「無記入」 ③30 ④男 ⑤楽譜がわかりやすい譜面ならもっと弾きやすいのではないかと思った。

①初 ②あり「ピアノ」 ③30 ④女 ⑤思ったよりバチが大きくて重くてうまく動かすことができません。今も手が震えていて字がうまく書けません。



①初 ②なし ③20 ④女 ⑤むずかしかったです、三味線にさわられて感激しました。始める前は2時間は長いと思っていましたが、アッという間でした。もう少し上手になるまで弾いて見たかったです。

①初 ②なし ③20 ④男 ⑤楽しくありませんでした。途中で退場してしまうのは申し訳ありませんが、楽しくありません。(略) 三味線を習いに来たのです、伝統を継ぎに来たのではありません。人のやり方を規制するような方法(編集部注・正座のことだと思われま)がとられるなら、三味線をやる人は増えないでしょう。

①初 ②あり「無記入」 ③20 ④女 ⑤自分で三味線を弾けるなんて夢のようです。感激しました。もちろん体の芯まで響きわたるような音色には遠く及びませんが、ともかく嬉しくて、楽しくて……。

①初 ②あり「ピアノ」 ③20 ④女 ⑤むずかしくて落ちこぼれそうになりましたが、なんとかやりました。

①初 ②あり「ピアノ」 ③20 ④女 ⑤とても面白かった、また機会があれば参加したい。歌舞伎を見る目に一味加わった。

①初 ②あり「ピアノ・フルート」 ③20 ④女 ⑤最初は足がしびれて大変だったが、後の方になって三味線を持てた喜びが味わえるくらいまでになった。

①初 ②なし ③20 ④女 ⑤義太夫三味線の音色が好きで弾いてみたいな一と思っただけです、音を味わっている余裕なんてありませんでした。順序がごちゃごちゃになってしまっ、冷や汗もの、2時間でした。でも音だけでも出せてよかったです。

①初 ②あり「マンドリン」 ③30 ④女 ⑤特に左肩がこりました。普段は外国の芝居ばかりやっていますが、おそまきながら日本の芸能にふれてみたいと思参加しました。義太夫教室の方も世話になります。よろしく。課題は低い声を出せること……



????? 質問箱?????
? 御祝儀宝の入船 入登加丸?
?????????????????

お客様から協会事務所へ面白い御質問。結構なことと嬉しくお返事を書かしていただきます。

昔の番組に「御祝儀宝の入船 入登加丸」は全部金尽しの文章でございます。御祝儀も勿論おかね。紀文のみかん船の如くお金を山ほど積んだお船。入登は、寄席は宮松亭さん、若竹亭さんなど特種は別として、東京の寄席は東橋亭さん、琴平亭さん、数十席は大概二階でした。為に、お客様皆さん二階へ登る、大入りになれば加丸で税金が加わる訳です。こんなことで如何でございます。どうぞ、今後も御研究いたしませ。私でわかる事でしたらなんなりとお答えさせていただきます。 豊澤 猿三郎

〈寄 贈〉

- 田辺 秀雄様 本牧亭最終女義公演ビデオ
- 河川 善信様 国立公演記録用録音機一式
- 文楽編集部様 本牧亭最終女義公演 写真
- 富田三千三様 「文楽」第八号
- 高野俊雄様 新春懇親会スナップ写真
- 山中 豊様 義太夫協会会員名簿'90 八百部
- 故豊澤仙廣師御遺族様 五行本・コマ 多数

大切に使用して頂きます。どうも有難うございました。

協会の動き

'90年1月より
'90年7月まで

- 「平成二年」
1月5日 仕事始め
1月8日 公演部・国立演芸場打ち合わせ
1月12日 前副会長・豊澤仙廣師告别式
(?頁参照) 於増上寺慈雲院
1月15日 企画委員会準備会(仮称) 於文明堂
1月19日 義太夫節保存会役員会 於あぜくら
19日 西澤真理さん事務局に就任
1月20日 若手女流正会員話し合い 於国立劇場
1月21日 「女流義太夫演奏会」本牧亭より
移転して初の演奏 望月久恵社中
特別出演 於国立演芸場
1月25日 新春懇親会 於蓬萊閣
1月31日 平成2年度民間芸術等補助金概算
予算提出
2月8日 公演部・国立演芸場打ち合わせ 於国立演芸場
8日 公演企画委員会準備会 委員会の
申し合わせ事項等検討 於文明堂
2月10日 普及部会 於文明堂
- 2月17・18日 女流後継者育成事業「春の富士」研修(野澤喜左衛門師指導) 於国立劇場
2月20・21日 第9回伝承者研修発表会(義太夫節保存会主催、義太夫協会後援、文化庁・東京都助成) 八王子車人形・西川古柳座特別出演 於国立演芸場
2月21日 芸団協邦楽部門会議 於芸団協会議室
2月22日 演舞場稲荷初午祭 於芸団協会議室
3月1日 公演企画委員会発足 (詳細は9頁) 於文明堂
3月3日 '90都民芸術フェスティバル 第20回邦楽演奏会 女流が出演した。 於朝日生命ホール
3月6日 芸団協年金推進委員会 於京橋会館
3月12日 公演部会 於事務局
3月14日 公演部・国立演芸場打ち合わせ 於国立演芸場
3月15日 第10期歌舞伎俳優・第10期竹本研修発表会 於国立小劇場
- 3月21日 女流義太夫演奏会 鶴澤詢治芸団協助成新人奨励賞受賞 芸団協常任理事・松島庄十郎師より祝辞 於国立演芸場
3月22日 公演部会 於事務局
3月26日 定例理事会 於文明堂
3月26日 義太夫教室(文化庁助成) 第42期修了 於演舞場スペース・アルファ
26日 義太夫節保存会平成元年度文化財保存事業実績報告書提出 於東京勤労福祉会館
3月28日 第5回義太夫教室OB演奏会 義太夫教室OB会主催・義太夫協会後援 於東京勤労福祉会館
3月31日 平成元年度東京都文化財保存事業費補助金の額の決定通知
平成元年度重要無形文化財等補助金の額の決定通知
- 「平成二年度」
4月2日 公演部会 於事務局
4月5日 竹本研修選考試験 於国立劇場
4月10日 常務理事会 於事務局
10日 平成元年度民間芸術等振興費補助金(青少年等芸術普及)実績報告書提出
4月13日 公演部・国立演芸場打ち合わせ 於国立演芸場
4月14日 義太夫の一日体験入門 案内人：野澤松也(4頁参照) 於演舞場スペース・アルファ
14日 若手女流正会員話し合い 於事務局

- 4月16日 公演部会 於事務局
- 4月18日 第3期能楽・14期文楽・11期歌舞伎俳優・11期竹本・6期鳴物研修開講式 於国立演芸場
- 18日 芸術文化振興基金創立記念のついで 朝重副会長出席 於三井クラブ
- 4月21日 女流義太夫演奏会「吉川英史・義太夫塾」メリヤス・合の手・さわり集」 於国立演芸場
- 4月23日 常務理事会兼義太夫節保存会役員会 於築地自治会館
- 4月24日 毎日新聞に「一日体験入門」の記事掲載 問い合わせ殺到
- 24日 平成2年度民間芸術等振興費補助事業に関する事情聴取 文化庁特別会議室
- 4月28日 平成元年度民間芸術等振興費補助金額の確定通知
- 28日 西澤真理さん都合により退職
- 4月30日 公演部会 於事務局
- 5月10日 公演部・国立演芸場打ち合わせ
- 5月12日 義太夫の一日体験教室(教師のための義太夫講習会)講師1竹本朝重(5頁参照) 於国立演芸場
- 5月16日 公演部会 於事務局
- 5月17日 女流後継者育成事業「勸進帳」研修(豊竹呂大夫師指導) 於国立劇場
- 5月20・21日 女流義太夫演奏会 20日、舞踊藤井流家元・藤井安洋氏特別出演 於国立演芸場
- 5月22日 演芸連合20周年記念パーティ 於東京会館
- 5月26日 三味線の一日体験教室(教師のための義太夫講習会)講師1竹本弥乃太夫 助手1野澤松也(6頁参照) 於演舞場スペース・アルファ
- 26日 若手女流正会員話合い 於事務局
- 5月28日 義太夫教室第43期開講 59名(内女性42名)が受講中 於演舞場スペース・アルファ
- 28日 平成2年度文化財保存事業補助金の内定
- 5月29日 三味線の一日体験教室風景 日本テレビにて放映
- 5月30・31・6月1・2日 女流後継者育成事業「勸進帳」研修(野澤喜左衛門師指導) 於国立劇場
- 6月2日 八王子車人形総会 於西川古柳座
- 6月4日 平成2年度文化財保存事業国庫補助金交付申請書提出 於事務局
- 6月8日 公演部会 於芸団協会議室
- 6月12日 定例理事会 於国立演芸場打ち合わせ
- 6月14日 公演部・国立演芸場打ち合わせ 於国立演芸場
- 6月15日 平成3年度補助事業概算予算提出
- 6月20日 女流義太夫演奏会 於国立演芸場
- 6月21日 教師のための義太夫講習会 講演 田辺秀雄 於国立演芸場
- 6月23日 平成2年度通常総会 平成元年度事業報告・収支決算報告、平成2年度事業計画・予算案を審議、原案通り可決した。 於文明堂
- 6月27日 芸術文化振興会発足祝賀パーティ 於国立劇場
- 6月29日 芸団協総会 於京橋会館
- 6月28日 義太夫節保存会平成3年度概算予算提出
- 7月12日 公演部会 於事務局
- 7月12日 公演企画委員会 於文明堂
- 7月18日 公演部・国立演芸場打ち合わせ 於国立演芸場
- 7月21日 義太夫協会会報第48号発行

公演企画委員会発足

本牧亭から国立演芸場に移った定期公演を充実させるため、会長の諮問機関として公演企画委員会が去る3月1日発足しました。第一期委員(任期2年)は、池田弘一・景山正隆・菊池明・吉川英史・佐々木明郎・竹内道敬・竹本朝重・竹本綾一・竹本駒之助・館野善二・豊澤幸治・山岡知博・山川直治。委員長は景山正隆、以上各氏(敬称略)です。皆様もリクエント、御意見等をお寄せ下さい。

「1頁解答」義太夫と解く。その心は、竹がいかででしたか。因みにこの図柄は、新年会の景品交換のための特大アマダくじでした。

〈支出の部〉		〈収入の部〉	
心身障害児のための寄付金	150,000円	会場募金箱(20・21日)	78,006円
本牧亭席料他諸掛	109,500円	当日入場料	111,500円
旅費宿泊交通費	78,835円	出演者扱切符代	81,900円
通信費	57,411円	協会補助	940円
アルバイト代	17,100円	協会扱御寄付	236,000円
床世話・荷上げ他	36,000円		
弾合わせ等諸経費	35,000円		
諸雑費	24,500円		
支出合計	508,346円		
差引残	0円		
		〔内訳〕	
		豊澤 仙廣様	100,000円
		松前 重義様	24,000円
		松尾 武市様	20,000円
		和田 博様	20,000円
		坂本 朝一様	10,000円
		佐野 俊三様	10,000円
		竹本綾之助会様	10,000円
		中島 古平様	10,000円
		中村初波奈様	10,000円
		木下 淑恵様	6,000円
		内野アキコ様	5,000円
		藤浪 耕六様	5,000円
		匿名 様	3,000円
		野澤 錦輝様	2,000円
		鶴澤駒登久様	1,000円
		収入合計	508,346円

心身障害児のための
 第19回特別公演
 決算報告

本牧亭での最後のチャリティ公演に御協力下さいまして誠に有難うございました。今年は、国立演芸場にて12月21日(金)に開催の予定です。何卒よろしくお願い申し上げます。

*プログラム・切符等の印刷一切は今回も高野俊雄常任相談役がおひきうけ下さいました。

義太夫を聴いて

思うこと

湯島将貴

私が義太夫に関心を持ったのは平成元年の秋、出光佐三氏の著書を読んだのがきっかけです。それ以前には「義太夫」の言葉も知りませんでした。ブレイカイドでは、「義太夫の公演は聞いた事が無い、やるとすれば国立

劇場だろう！」というので、国立劇場に問い合わせた処、「文楽」なら年に何回か公演しているとの事でした。義太夫を観る機会を狙っていた処、朝日新聞の催物ガイドで「本牧亭で女流義太夫」を見つけ、協会より資料を送って戴きました。

初回が十一月二十日、第一印象は「古い」「暗い」感じと、言葉が分からないので「こんなものか……」で終わりました。資料を見ても読めない字、意味が分からない言葉が多く、プログラムを見ても演目や太夫の名前が読めないなど、「再度聴く価値ゼロ」でした。しかし、隣の席の人の「明日を聴かずして判断すべきでない」との勧めで、二日間聴いて、感想は前日と同じですが、三味線の力強さだけが心に残りました。

男性の太夫も聴いてみたいと思いついた処、「文楽で聴くか、三十日に素義の会がある」との事で、三十日河野國声氏を聴いて、初めて義太夫の語りの面白さが(何となく)分かるような気がしました。そして、十二月二十一日、四回目でやっと語りに耳が慣れはじめてきて、言葉が分かるようになったのです。こんな体験から私の感じた点をいくつか書いてみました。

1 「言葉」「意味」が分からない
 義太夫がつまらない・入りにくい大きな原因は「語り」が何を言っているのか分からないからだと思えます。それは、NHK教育テレビで歌舞伎と比べると、義太夫の字幕がずいぶん多い事でも分かります。私の第一印象

では、キツイ方言で語っている感じでした。

2 社会環境の変化

昔から「畳と女房は新しいほど良い」と言われておりましたが、「女房が新しい」の意味は何かというところ、「日本そば」で譬えれば、もり・たぬき・きつね・天ぷら・カレーなど種々の食べ方があります。土台はそばですが表面(料理方法)を変える事によって毎日でもあきずに食べられます。

この考えは義太夫にも言えるのではないかと思います。明治・大正の時代は女義太夫が興業の花形だったと伺っておりますが、時代・社会環境と共に前記の意味での変化がなければ衰退していくのも当然だと思えます。

3 消費者から選択者へ

現在は和菓子ひとつ取ってみても、昔では考えられないような物(例えばイチゴ大福など)もあり、どれを買ってよいやら分からない時代になってきました。これはただ食べておいしかった、で終った時代(消費者時代)から、今後は多種類のなかから選んで買う事ができる時代(選択者時代)だという事です。数え切れないほどの娯楽の中から義太夫を選択者に選択してもらおう為にはどうあるべきかという点が見直されても良いと思えます。

4 人は「不満」を直接は言わない

産業界で言われている事のひとつに「商品に不満を持ったお客のうち、苦情で電話をかけてくるのは一〇〇人中四人」というのがあります。残りの九十六人は九十九人の友人・知人に不満を話すとされています。初めて

義太夫を聴いた人は次の四種類に分けられると考えられます。

イ 興味を持って再度来てくれる人

ロ 興味は持てなかったが、好意は持ってくれた人

ハ 難しい・つまらないなど、良くない印象を持った人

ニ 嫌いになった人

ニには打つ手が無いとしても、ハは帰ってから友人・知人に何と申うでしょうか。ハの人が「今度女義太夫を聴きに行こうと思ってるけど面白い？」と聞かれた時に「何を言っているかサッパリ分からないよ、行ってもしょうがないよ」などと答えてしまったら！質問した人は聴きに行く気にならなかつたり、行っても先入観が邪魔して良くない印象を持ったりで「食わず嫌い」を陰で作っているようなものです。「あまり面白くはなかつたけど、一度は直接聴いておくのもいいよ」ぐらい答えてくれる様な印象を持って帰させる何らかの手を打っていらっしゃるのかどうか。私も二回までしか見ていなかっただらハになっていたのではないかと思います。

5 今がチャンス

今は義太夫のファンを増すにはいいチャンスと私は考えます。今の若者たちは古いもの・昔のものという事だけでは判断しません。面白い・楽しい・素晴らしい・感動させてくれるかなどで判断してくるようになります。歌舞伎などに若者が行く要素のひとつは見るものだからです。言葉は分からなくて

も目から理解の糸口がつかめるからです。テレビによって育った人達はまず「見る」から入ります。現在は「好き・嫌い」の時代で「良い・悪い」の時代ではありません。

6 その他

どんなに素晴らしいものであっても近寄り難いと親近感がわかないことがあります。親近感を高める要素は、その場の雰囲気良さだったり、対応の人の接客態度の良さだったり、作品とは直接関係の無い部分も含まれるのではないのでしょうか。私は、プロは総合的なものでお客に満足を感じてもらうものではないかと考えます。プログラムや解説に読めない字があったり、意味が分からない言葉がかなりあります。いつでも初めてのの人に対して入りやすい入り口を作っておいて欲しいと思えます。そうしないと友人・知人に紹介をしにくいものです。

私は素人なので分かりませんが、語りが三味線に負けているような気がしています。全体的になぜか雰囲気感が暗い感じがしました。言い方を変えると、演者がいきいきしていないようだったり、演じていて「楽しい」のかどうか見て分かりません。

以上、素人が独断と偏見で書きましたが、今年から国立演芸場に移された由、少しでもお役に立てば幸いです。最後になりましたが、貴協会の益々の御発展と皆様方の御健康を祈りつつ、乱筆乱文にて失礼致します。

平成二年二月十九日

(会員になれないでいる一快院より)

〔平成元年度御寄附〕

豊仙池大和堀石西望竹河松高野	澤廣師田本日角	猿御弘素	三遺義鶴	郎族一会博子子大恵道エ文雄也	様様様様様様様様様様様様	1,000,000円	1,000,000円	1,200,000円	1,000,000円	5,000,000円	2,000,000円	1,000,000円	1,000,000円	1,000,000円	7,500,000円	5,000,000円	5,000,000円	4,500,000円	3,000,000円	計	2,345,000円
----------------	---------	------	------	----------------	--------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	---	------------

〔女流義太夫本牧後援会〕

高池竹本竹松	野田朝重御之助	俊弘	雄一様	有志様	有志様	150,000円	100,000円	100,000円	100,000円	30,000円	計	430,000円
--------	---------	----	-----	-----	-----	----------	----------	----------	----------	---------	---	----------

〔平成元年度 特別会費 2口以上〕

山和松池中	田井田島	操博男一平	様様様様	3口	30,000円	3口	30,000円	2口	20,000円	2口	20,000円	2口	20,000円
-------	------	-------	------	----	---------	----	---------	----	---------	----	---------	----	---------

計報

■湯川重次郎氏(賛助会員)

昭和63年8月11日逝去

■山崎光余子氏(賛助会員)

逝去年月日不明 (御存知の方は御一報下さい)

■山本とみ子氏(賛助会員)

平成元年12月18日逝去

■豊澤 仙廣師(義太夫節保存会会長・元義太夫協会副会長・名誉会員)

平成2年1月8日逝去

■竹本広之助師(正会員)

平成2年2月17日逝去

■中村勝太郎氏(本牧亭下足のおじさん)

平成2年3月31日逝去

威勢よく「らっしゅい」と迎えてくれた本牧亭名物だったおじさんが亡くなりました。本牧亭閉鎖後は老人用施設に入り「初めはしゃげていたけど、すぐ元気になって時々ふらりとお菓子を持って遊びにきていました」(石井会長)という。居留先の施設で心臓発作を起こしたという事です。(以上4月22日付け読売新聞による)

■田中 一郎氏(元参事)

平成2年6月12日逝去

平成1年11月3日 故豊竹団司師に勲五等宝冠章がおくられました。

御冥福を心からお祈り致します。

*三味線をお頒けします。

在庫に若干余裕ができましたので、三味線

ベチ・コマをお頒けします。但、原則として

義太夫協会会員または義太夫教室出身者で、

実際に稽古中の方に限らせていただきます。

詳細は事務局までどうぞ。

*手渡し方式に御協力を!

国立公演では、翌月の番組をお配りして

りますので、いらして下さった会員各位には

郵送を省略させて頂きたく、なにとぞ御了承

下さいませようお願いします。

*わりこみ電話・留守番電話について

事務所が不在のときは必ず留守番電話にし

てあります。なかなかつながらない時は、お

そらく話中です。わりこみ電話は、話し中

のツーツー音がしません。不在ではありません

ので、どうか再度おかけ直し下さい。

最近の電話応対、声の主は、事務所を手伝

って下さる田坂さん。義太夫教室OBの研究

熱心なお嬢さんです。ヨロシク!

編集後記

七ヶ月もの御無沙汰おわ

びいたします。本牧亭から

国立への移転は思ったよりずっと重いもので

した。仙廣師の逝去、なつかしい下足のおじ

さんも今はない、反面「一日体験」のフイー

バーぶり、義太夫協会も時代に即応した転換

を迫られているのかもしれない。どうか皆

様、御意見をお聞かせ下さい。答えはその中

にあるのではないのでしょうか。この会報もそ

んなお役に立てば幸いです。